

2015 年度事業報告書

公益財団法人 第 4 期

(2015 年 4 月 1 日から 2016 年 3 月 31 日まで)

- ・事業概況
- ・事業報告
- ・評議員会、理事会、事務局等

1. 産学官連携推進事業

【事業の目的】

埼玉県、本庄市、早稲田大学、地域産業、市民と協働し、埼玉県北を中心とした北関東地域の研究拠点を目指す。産学官連携の共同研究を促進し、早稲田大学を中心とした研究機関の知を地域産業界と繋げ、先進的なまちづくり「本庄モデル」を構築する。

(1) 公的資金を活用した共同研究の実施

中期計画アクションプラン

【2-7 中期計画の推進】

- ・ 国や県の委託事業なども活用しながら、効率的な人材の配置を図る。
- ・ 公的事業の受託や助成金の給付を実現し、効果的な事業運営を目指す。

①経済産業省 平成27年度戦略的基盤技術高度化支援事業

②経済産業省 平成26年度地産地消型再生可能エネルギー面的利用等推進事業費補助金(構想普及支援事業)

(2) 本庄早稲田オープンイノベーションネットワークの展開

中期計画アクションプラン

【2-2 連携の多面化・多層化と信頼の醸成】

- ・ 地域を超えた大学、経済団体、行政等との連携をすすめる

【2-6 新しい研究会組織と会員の拡大】

- ・ 4部会を立ち上げる
- ・ 会員数を2018年度には150社とする

①現在の会員数(2016年3月31日現在)*カッコ内は2015.3.31現在

【賛助会員】	17団体(15団体)	} 賛助会員に日本工業大学(宮代町)、東京電機大学(足立区)が加わる。
【正会員】	62社(52社)	
【個人会員】	5名(4名)	
		合計 84(71)

②3部会(次世代地域・モビリティ研究部会、環境・エリアマネジメント研究部会、食と農研究部会)活動中。

「くらしと健康研究部会」は未設立であるが、埼玉県立大学の協力の下、出前セミナーを実施した。

日 時:2月8日(月)、23日(火)

講 座:「最近の在宅介護事情について」

講 師:埼玉県立大学 看護学科 准教授 藤川 あや 氏

会 場: 社会福祉法人城南会 特別養護老人ホーム しらすぎ(埼玉県さいたま市岩槻区)

受講者数:79名

③日本工業大学機械工学科研究室訪問(次世代地域・モビリティ研究部会)

日 時:11月27日(金)

内 容:(1)機械工学科研究室訪問 (2)工業技術博物館見学 (3)懇親会

案内役:日本工業大学 機械工学科 古閑伸郭教授、村田泰彦教授、二ノ宮真一准教授、神雅彦教授

会 場:日本工業大学 産学連携起業教育センター(埼玉県南埼玉郡宮代町学園台4-1)

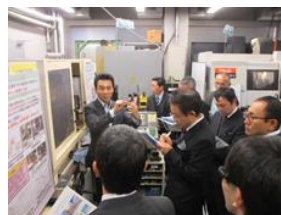
参加企業:6社9名 ポーライト(株)、(株)みすず製作所、フクダエンジニアリング(株)日生工業(株)、藤田金属(株)、東京千曲産業(株)



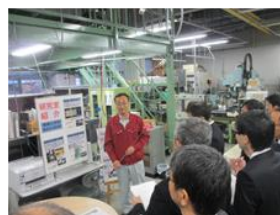
案内役の古閑先生



案内役の村田先生



案内役の二ノ宮先生



案内役の神先生

【研究室訪問の様子】

(3) プロジェクトの推進、事業化支援

中期計画アクションプラン【2-1 先進プロジェクトの推進】

- ・ 革新性のあるプロジェクト、地域や産業の振興に波及効果のあるプロジェクトなどを創出し推進する。

①本庄地域における地産地消型エネルギー供給事業の事業化可能性調査プロジェクト

【事業主体】合同会社本庄早稲田エリアマネジメント、(株)早稲田環境研究所、財団

協力：早稲田大学 小野田研究室、埼玉県、本庄市等

<補助金等>地産地消型再生可能エネルギー面的利用等推進事業費補助金(構想普及支援事業)

【事業の必要性、期待される効果等】

再生可能エネルギーの普及においては、本来なら、大規模な熱需要家や大企業の誘致によって、面的なエネルギー供給のメリットが創出されることが多い。しかし、本庄市のような地方都市では、点的な需給形態となっている。今回の取り組みで、エネルギーマネジメントシステム等を活用してこれらの需給を効率的に管理することにより、電力小売事業化やエネルギーの地産地消による地域産業の創出につながると期待される。

【事業化の可否についての結論】

・住宅街区における熱電併給事業

住宅街区における熱電併給事業は、補助金を2/3投入したとしても投資回収年数が約21年となることから、本事業単独では事業化が難しいと考えられる。そこで、最終的な事業判断については、ハウスメーカーとの協議などにより、導入コストの低減や仕様見直しなどが必要である。

・地域PPS*

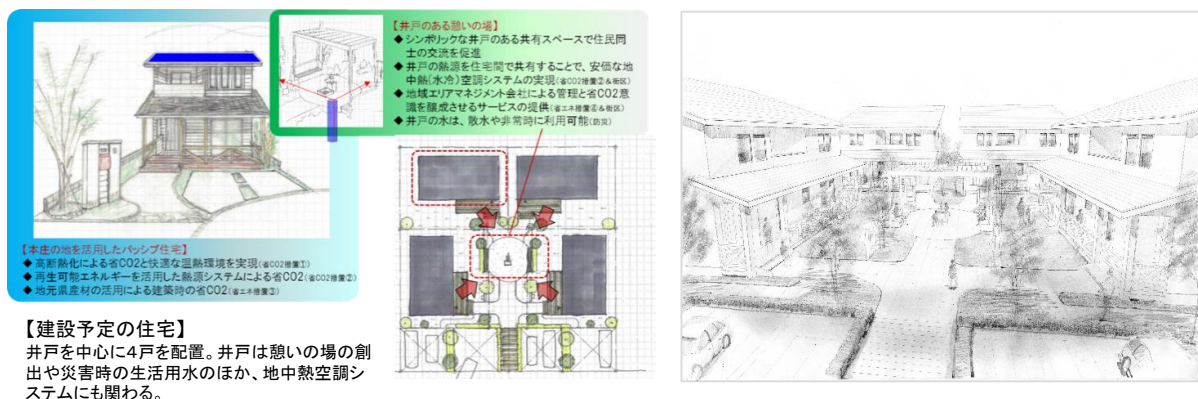
本庄地域における地域PPS事業では、電力供給のみであれば粗利ベースで黒字化が確保できるものの、固定費などを考慮すると赤字となることから、事業規模として約13MW程度の顧客が確保できた場合、事業として成立しうることが判明した。しかし、実際の事業にあたっては、電源調達における市場価格の変動リスクや安定的な需要家の確保などの課題を有しているため、公共施設などを需要家として確保できた場合は、事業化の可能性がある。

* PPSとは、契約電力が50kW以上の需要家に対して、一般電気事業者が有する電線路を通じて電力供給を行う事業者(いわゆる小売自由化部門への新規参入者)

【今後について】

住宅に関しては、補助金を活用し地元ハウスメーカーと本事業を踏まえた住宅の建設を実現する。

地域PPSは、合同会社本庄早稲田エリアマネジメントが本庄で展開していく予定。



②県立児玉白楊高校スマート農業プロジェクト

【事業主体】児玉白楊高校、早稲田大学浦野名誉教授、(株)アイエスイーエム、(株)グローバルソフトウェア、財団

【事業の必要性、期待される効果等】

我が国の農業の課題については、従事者の減少とその高齢化が挙げられる。ICTの活用は、農作業を効率化するために有効な手段のひとつであることから、これを推進することは農業の活性化につながる。

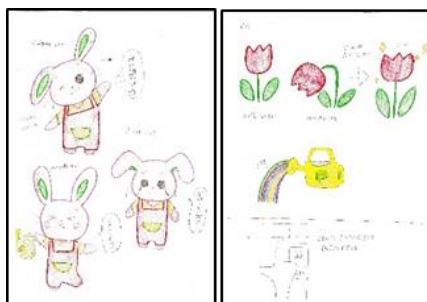
高校生を対象にICT活用を実践することにより、次世代農業生産者や産業人材の育成ならびに地域産業の振興を推進すると期待される。

【進捗状況】

スマートフォンを用いた簡易遠隔灌水システム(愛称「水やり君」)構築に取り組み、デモシステムを開発。児玉白楊高校文化祭および彩の国ビジネスアリーナ2015において展示を行った。

【今後について】

屋外の植栽への実装を進めるとともに、企業と連携して製品の実用化を目指す。



【生徒のデザイン画】
スマートフォンの操作で水をやる



デモンストレーション用の水やり君

③埼玉発！機能性おやつ開発プロジェクト

【事業主体】(株)梅林堂、早稲田大学ナノ・ライフ創新研究機構(矢澤研究員教授)、「日本を健康にする！」研究会
武蔵野銀行、財団
<補助金等> 埼玉県地域ものづくりブランド力強化支援事業補助金

【事業の必要性、期待される効果等】

高齢化社会の進展や、加齢による身体上の悩みに対する意識の向上を背景に、健康食品市場は拡大し、2015年4月には食品の機能性表示制度が開始された。食事による健康増進の一つの手段として、美味しく楽しく食べられる「おやつ」に機能性を付加した「機能性おやつ」の普及は、健康で長生きしたい多くの国民の期待に応えるものである。埼玉県産野菜を使用した機能性おやつが市場で認知されることにより、第2、第3の機能性おやつの開発が喚起されるなど、地域の活性化が期待される。

【進捗状況】

小松菜を原材料に使用した「おはぎ」や「饅頭」を製造し、販売した。現在、「ジェラート」を開発中。前橋市産学官金連帯フェスタおよび彩の国ビジネスアリーナ2015において取組を紹介した。

【今後について】

展示会などで「機能性おやつ」の普及や認知度向上に取り組んでいく。



【小松菜おはぎ】
お盆・お彼岸に店頭販売した



【小松菜入りの饅頭】
お歳暮としてインターネット販売した

【事業の成果・今後の展開】

プロジェクトについては一定の成果を得るとともに、展示会や新聞記事掲載により効果的な情報発信を行うことが出来た。成果と課題を整理し、ホームページ等で公表することにより地域に還元していく予定である。「くらしと健康研究部会」については、ひきつづき出前セミナー等を通じて関係者の理解を得ることにより、設立を目指していく。

オープンイノベーションネットワークの会員については、プロジェクト等を共同実施するなかで増加を図っていく。

2016年度は、新たに「海外への販路開拓や進出(中期計画アクションプラン【2-3 グローバル化への対応】)」を実現するための第一歩としてFOOD TAIPEIに参加する。

2. 地域産業活性化支援事業

【事業の目的】

地域産業の経営基盤を強化し、新たな産業の創出を推進するため、県内外の関連支援機関との連携体制を構築する。また、地域の特徴を活かした産業支援策を積極的に展開することにより、埼玉県北を中心とした北関東地域の産業支援拠点の確立を目指す。

中期計画アクションプラン

【2-7 中期計画の推進】

- ・ 研究会組織の会員全体へのサービスの充実を図る。

(1) 企業の人材育成支援

産学連携のパートナーである地域企業の経営基盤の強化を図るため「本庄早稲田塾」を開催し、人材育成を支援した。

① 企業経営者・管理者研修 年1回開催(6月) 受講者数24名

- ・ 対象: 新たに部長等の管理者になった者
- ・ 講義内容: 管理監督者に必要なマネジメントやコーチング等の習得
- ・ 成果: アンケート結果「大変参考になった・参考になった」が95. 2%



【企業経営者・管理者研修】

② 中堅社員・専門研修 年5回開催(7,9,10,12,2月) 受講者数195名

- ・ 対象: 企業の中堅社員、実務担当者等
- ・ 講義内容: 営業、財務、女性キャリアアップ、クレーム対応、幹部候補育成
- ・ 成果: アンケート結果「大変参考になった・参考になった」が平均93. 4%



【特別セミナー】

③ 特別セミナー 年1回(6月) 受講者数72名

- ・ 講義内容: マイナンバー制度の実務
- ・ 成果: アンケート結果「大変参考になった・参考になった」が平均89. 8%

④ 早稲田若手経営者ビジネススクール 年10回開催 受講者数7名

早稲田大学鶴飼信一教授ならびに、産業界で注目されている若手経営者との議論を通じて、自らの経営課題とその解決策を研究するゼミ形式のビジネススクール。

- ・ 対象: 中小企業経営者・後継者や幹部候補者
- ・ 講義内容: 中小企業経営論、リーダーシップ論等、受講生自らが設定した経営課題研究
- ・ 成果: (ア) 若手経営者が他の企業経営者の成功体験等を聴ける貴重な場になっている。
(イ) 5期目となり、受講生のネットワークが形成されてきた。



【早稲田若手経営者ビジネススクール】

(2) 企業・住民との連携による地域産業振興

地域で食や農の分野で活動している市民団体やNPO、企業と共同して、「食と農のフェスティバル」を開催する予定であったが、雨天により中止となった。

(3) インキュベーション(起業家)支援

中期計画アクションプラン【2-1 先進プロジェクトの推進とインキュベーションの促進】

- ・ インキュベーション機能を充実させ、プロジェクトの創出を促進する

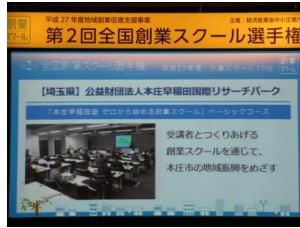
①創業スクールの実施

- ・事業内容:創業に必要な基礎知識の習得からビジネスプランの作成までを学ぶ全7回の講座

9月26日～11月14日の土曜日(10時～16時)実施

- ・受講生:23名(内訳 男性15名、女性8名/20代1名、30代5名、40代7名、50代7名、60代3名)
- ・実施体制:メイン講師は、早稲田大学インキュベーション推進室シニアコンサルタント(工藤氏)
その他、中小企業診断士、税理士、弁護士、日本政策金融公庫融資課長、地元起業家等
- ・成果:第2回全国創業スクール選手権(中小企業庁主催)

「創業スクール大賞」受賞 「創業スクール10選」選定



講座の様子

2016年3月末時点での創業者 5名

バッグの企画製造販売、印刷のコーディネーター、Web等のデザイナー、
アロマオイルマッサージ、疑似窓の製造

②本庄早稲田ビジネスプラットフォーム※の運営

- ・会員数(2016年3月末現在) 19社(14社) *カッコ内は2015.3.31現在

※ビジネスプラットフォーム…個人事業主や創業検討中のベンチャー企業を支援するため、
シェアオフィスを始め会員への各種情報提供や 経営相談、
会員相互の情報共有などのメニューを提供するサービス



【ビジネスプラットフォーム】

③IOC本庄早稲田セミナー&交流会の開催

- ・第1回(2015年7月27日) 26名出席 講師:ターナー法律事務所 鈴木弁護士
無料相談会、セミナー「社会保障・税番号(マイナンバー)制度のポイントと個人情報の取り扱いについて」
- ・第2回(2015年12月17日) 25名出席 講師:本庄商工会議所 田中事務局長
セミナー「本庄商工会議所の支援事業・夢をカタチに～夢が語り合え、
夢を実現できる商工会議所～」
- ・第3回(2016年3月24日) 27名出席 講師:日本政策金融公庫 古閑融資課長
セミナー「資金調達のポイント～公庫の役割、金融機関からの資金調達、
公庫の活用事例、最近の経済情勢と国の中小企業政策～」



【交流会の様子】

【事業の成果・今後の展開】

創業スクールの実施により起業家を創出することができた。ひきつづき、相談対応、関係機関等の紹介、事業広報協力などにより事業の立ち上げ及び継続を支援していく。

2016年度は、設立した創業スクールOB会とも連携し、創業の拠点となることを目標に、支援の輪を広げていく予定である。

雨天中止となった「食と農のフェスティバル」については本庄商工会議所との連携を強化し、小雨決行が可能なプログラムを検討していく。

3. 地域連携支援事業

【事業の目的】

行政、地元企業、大学、住民等と連携し、次世代に資する人材育成や環境保全・国際交流を図る。また、住民の自立的なまちづくり活動を支援し、本庄市・児玉郡地域の活性化、振興を推進する。

(1) 先進的まちづくり活動支援事業

① 本庄早稲田の杜づくり活動支援

- ・本庄早稲田の杜づくりに取り組んでいる団体等と連携し、地域の課題解決や活性化に向けた取組みを支援するとともに、関係団体等が主催するイベント等の企画・運営に協力した。

主催：本庄早稲田まちづくり活動勉強会ほか 協力：当財団



【第4回 流しそうめんフェスタ】



【ハロウィン仮装パレード】

② 川淵三郎塾の活動支援

- ・早稲田大学特命教授の川淵三郎氏を招いて組織された川淵三郎塾の活動を支援し、本庄市と早稲田大学との連携によるウォーキング教室やスポーツ指導者講習会等開催の企画・運営に協力した。

主催：本庄市
協力：早稲田大学、当財団



【川淵三郎塾指導者講習会】

(2) 地域の人材育成支援事業

① 本庄早稲田の杜こども科学実験教室の開催支援

- ・7月31日(金)「夏休み親子スーパーサイエンス教室」 4教室(午前2教室、午後2教室) 参加者：77組
主催：早稲田大学本庄高等学院 共催：当財団
- ・8月6日(木)「本庄ユニラブ2015」 12教室(午前6教室、午後6教室) 参加者：106名
主催：早稲田大学大学院環境・エネルギー研究科、早稲田大学環境総合研究センター 共催：当財団
- ・12月25日(木)「冬休み親子スーパーサイエンス教室」 4教室(午前2教室、午後2教室) 参加者：85組
主催：早稲田大学本庄高等学院 共催：当財団



【本庄ユニラブ2015】



【冬休み親子スーパーサイエンス教室】

②環境学習の開催支援

- ・市内等の小中学校で環境学習授業の支援を実施し、児童生徒の環境理解の増進に成果を上げた。
講師：早稲田大学、NPO早稲田環境教育推進機構、埼玉県、本庄市他
開催学校：6校で7回開催 延べ参加児童生徒：305名

③生涯学習活動支援

- ・子ども大学ほんじょうに実行委員として参画し、市町や早稲田大学と連携し、企画・運営に協力した。
講義10回 受講者児童：延べ681名 学園祭来場者：437名

④地域住民の医療や健康増進についての講演会等の開催

- ・市民団体と連携協力し、地域医療等を考える講演会を5回開催し(延べ参加者431名)、地域の医療や医療制度に関する知識の普及に貢献し、地域住民の健康意識の向上を図った。
講師：東京女子医科大学名誉教授、伊勢崎市民病院医師他



【環境学習 自転車発電】



【地域医療講演会】

(3) 地域環境保全事業支援

① 本庄早稲田の杜「里山塾」2015の開催

- ・地域の自然に果たす里山の重要性を軸にテーマごとに8回開催した。(登録者43名)
講師：大堀 聡(早稲田大学自然環境調査室)、荒川 正夫(当財団専務理事)
・「エクスカージョン」を実施し、新潟県南魚沼市清水地区の生物多様性の見学やブナ林の間伐を体験した。



【里山塾 エクスカージョン】



【里山塾 サツマイモ収穫】

② 河川調査体験学習会の開催及び河川保全活動支援

- ・藤田小学校児童による河川及び魚類調査の支援を延べ5回実施した。
参加児童：36名(5,6年生)、主催：本庄市立藤田小学校
協力：早稲田大学本庄高等学院、埼玉県(本庄県土整備事務所、環境科学国際センター)、本庄市、PO法人川・まち・人プロデューサーズ、当財団



【藤田小学校総合的な学習の時間 魚類調査】

(4)国際理解・国際交流促進支援事業

①小学校出張国際理解学習の開催

- ・本庄市・児玉郡地域の小学校において、早稲田大学国際教養学部と早稲田大学国際コミュニティセンターの協力のもと留学生による国際理解授業を実施した。児童が他国の文化を知り国際理解を深めるとともに、留学生が日本文化に触れる機会を設け、文化交流によりお互いの理解を深めることに貢献した。

訪問学校：9校 延べ参加児童：615名



【留学生と小学生の交流会】

②本庄市民との国際交流事業

- ・本庄市国際交流協会の交流プログラムのクリスマスパーティーや多国籍料理教室に、早稲田大学留学生に事業を広報し、参加募集した。今年度留学生の参加者はいないが、次年度も引き続き案内し、参加予定していく。

【事業の成果・今後の展開】

地域連携支援事業は、早稲田大学、埼玉県、本庄市、NPO、地域の企業などと連携し、先進的まちづくり活動支援事業、地域の人材育成支援事業、地域環境保全支援事業、国際交流支援事業を実施した。

・先進的まちづくり活動支援事業では、本庄早稲田駅を中心とした「本庄早稲田の杜づくり」構想の推進に協力するとともに、川淵三郎塾のスポーツイベントなどを支援し、スポーツ振興を通じて本庄市・児玉郡地域の活性化に貢献した。

・地域の人材育成支援事業では、子ども科学教室の開催、地域の小学校の環境学習授業の支援を実施し、児童の科学技術や新エネルギーへの興味増進、環境教育の理解増進に成果を上げ、未来を担う人材育成に貢献した。また、地域住民の健康増進事業を実施し、地域を支える人材育成に協力した。

・地域環境保全支援事業では、水環境再生のための取組や里山塾を通じて地域住民や児童の環境保全への理解増進に貢献した。

・国際理解・国際交流促進支援事業では、早稲田大学国際教養学部と早稲田大学国際コミュニティセンターの協力により、小学校で国際理解学習授業を開催し、児童の国際理解教育の充実に貢献した。

2016年度は、先進的まちづくり、人材育成、環境保全、国際交流等の支援事業の取り組みをさらに充実・発展させる。また、市民団体が実施する地域医療を考える講演会の支援等を通じて、自立的活動を育成・支援し、本庄市・児玉郡地域の活性化、振興を推進する。留学生に、地域の国際交流事業に参加してもらい、相互理解を深めることに貢献します。

4. 研究教育施設管理運営事業

【事業の目的】

IOC(インキュベーション・オン・キャンパス)本庄早稲田、早稲田RPCC(リサーチパーク・コミュニケーションセンター)は、産学官連携による新事業を創出するための基盤となる中核的施設であり、地域市民やインキュベーション入居企業を含む地域企業に対して開かれた施設運営を目指し、企業セミナー等を通じた交流の促進等による施設利用の活性化に努める。

(1) IOC(インキュベーション・オン・キャンパス)本庄早稲田の運営

A・B棟は早稲田大学をはじめとした他大学・研究機関と企業などとの産学官連携による研究開発や人材育成の拠点として、V棟は新規事業や第二創業を行う企業活動の拠点施設として運営を行った。また、中小企業基盤整備機構(以下、中小機構)と早稲田大学の基本合意に基づき、中小機構よりA・B棟を借り受け、早稲田大学へ高度技術開発の拠点として貸与した。

(2) 早稲田RPCC(リサーチパーク・コミュニケーションセンター)の運営

産学官連携、地域産業の活性化等の財団の各事業を展開し、交流活動の拠点として運営した。
また、地域の人材育成や啓発活動を行う団体や企業等へ施設の貸与を行い、交流・活動拠点の場として提供した。

【事業の成果・今後の展開】

IOC本庄早稲田のA、B棟の賃貸について、早稲田大学と共同研究を行う企業や研究機関への貸し出しを行い、産学官連携の拠点として展開を進める。

5. 環境問題支援事業

【事業の目的】

当財団が中心となり、企業、行政機関、地域が直面している環境問題のソリューションを継続的に提供するため、産学官及び海外とのネットワークを最大限に活用した体制の構築やノウハウの蓄積を行い、会員企業等からの多様なニーズにこたえる。

【2-3 グローバル化への対応】

- ・ 海外人材の活用や育成をし、日系企業への就職支援を進める。
- ・ 海外への販路開拓や進出

会員企業からのニーズに対応し、以下の事業に取り組んだ。

(1) 中小企業のベトナム専門職人材活用に係るコンサルティング事業

当財団の協力機関である技術者教育機関のハノイ日本アカデミー・VCI人材戦略研究所から委託を受け、(株)上里建設(本庄市:建築業、太陽光発電事業)が採用を希望するベトナム人専門職の選定に関して、企業側のニーズ把握および適正人材活用方法についてのコンサルティングを実施した。その結果に基づきVCIが適正人材を選定し、女性1名(ハノイ貿易大卒)がアジア展開事業を担当する正社員として採用された。

- ・ 案件名 海外技術人材のニーズ調査および活用方法に係るコンサルティング事業
- ・ 委託元 ハノイ日本アカデミー・VCI人材戦略研究所
- ・ 調査期間 2015年4月1日から2016年3月31日
- ・ 財団への委託費 業務委託費として50,000円(税抜)

(2) 第1回 インドネシア共和国 西ジャワ地域公共施設太陽光事業 現地調査

当研究会会員企業(株)ウェーブ(本社:吹上市)の依頼により、当社が新規事業として検討しているインドネシアでの太陽光発電事業に関する現地事業環境の調査を実施した。また、現地事業パートナーとのコーディネートを実施、公共施設への入札を目標(2016年度後半)に具体的な作業を継続している。

- ・ 調査実施場所:インドネシア共和国
ジャカルタ市内、Kawarang市近郊 西ジャワ州政府 農園栽培作物種子開発センター
Bandung市近郊 西ジャワ州政府 園芸作物種子開発センター
- ・ 案件名 インドネシア共和国 西ジャワ地域公共施設太陽光事業 現地調査
- ・ 委託元 株式会社ウェーブ (共同事業者 株式会社リクロスエクスパンション)
- ・ 調査期間 2015年10月25日から2015年10月28日
- ・ 財団への委託費 今回の調査経費約300,000円をウェーブ社が負担。第二回目以降の調査費については、事業規模が確定次第決定することで調整中。



【ジャカルタ市内関係者ミーティング】

【事業の成果・今後の展開】

ベトナム専門職人材の活用については、ベトナム裾野産業・人材活用調査研修ツアーの実施と併せて、積極的に取り組む。インドネシア共和国の太陽光事業については、ひきつづき支援を継続する。

中期計画アクションプラン【2-4 情報提供・サービスの拡充】

- ・ウェブを活用した情報発信
- ・会員を対象とした情報提供
- ・会員間、連携・協力機関、教員などとの交流

(1) 外部広報媒体の活用

①テレビ埼玉「彩の国ニュースほっと(2015年10月10日(土)放映)」における産学官連携事業の紹介

②新聞記事掲載

- ・2015年10月3日付け日本経済新聞朝刊 機能性おやつ開発プロジェクトの紹介
- ・2016年1月22日付け日本経済新聞朝刊 Made in Honjo スマートハウスプロジェクトの紹介
- ・2016年2月3日付け日本経済新聞朝刊 県立児玉白楊高校スマート農業プロジェクトの紹介
- ・2016年3月6日付け朝日新聞朝刊 全国創業スクール選手権大賞受賞者の紹介
- ・2016年3月10日付け埼玉新聞朝刊 全国創業スクール選手権大賞受賞者の紹介
- ・2016年3月18日付け日本経済新聞朝刊 全国創業スクール選手権の紹介

③その他

- ・本庄ケーブルテレビ * 地元ケーブルテレビ
- ・埼玉よみうり * 読売新聞折込地域情報誌(埼玉県北部、第2・4金曜日発行)
- ・中小企業振興 * 中小基盤整備機構の新聞(毎月1日、15日発行)

(2) 財団保有媒体による情報発信

①ホームページ

②フェイスブック(財団・創業スクール)

③ツイッター

④メールマガジン(オープンイノベーションネットワーク・IOC本庄早稲田)

(3) 交流会

①オープンイノベーションネットワーク交流会(2015年6月23日) 61名出席

②研究部会交流会 * ワーキンググループまたはプロジェクト関係者の交流会

- ・環境・エリアマネジメント研究部会(2015年10月2日) 41名出席
- ・食と農研究部会(2015年12月11日) 19名出席

③IOC本庄早稲田セミナー&交流会(再掲)

- ・第1回(2015年7月27日) 26名出席
- ・第2回(2015年12月17日) 25名出席
- ・第3回(2016年3月24日) 27名出席

【事業の成果・今後の展開】

特に新聞記事掲載の広報効果は大きく、問合せ等、目に見える反響があった。

財団の取組を効果的に発信するため、引き続き、多様な媒体を活用した情報提供や広報活動を実施していくとともに、関係者間の情報交流の場を提供する。

1. 産学官研究推進事業

埼玉県や本庄市など自治体、早稲田大学等県内外の大学、地域産業、市民と協働し、埼玉県北を中心とした北関東地域の研究拠点をを目指す。先進的なまちづくり「本庄モデル」を構築するため、早稲田大学を中心とした大学、研究機関の知を地域産業界と繋げ、産学官連携による共同研究、プロジェクトを展開した。

(1) 産学官連携共同研究の企画

産学官連携研究拠点推進委員会において、「中期計画」をもとに、自動車、環境、エネルギー、情報通信、食品・農業分野を軸に産学官連携の共同研究の全体方針やテーマの検討、進捗状況の確認等を行った。その結果を踏まえ個別の研究プロジェクトごとに地域産業や関係機関等と協議を行い、共同研究を推進した

【産学官連携研究拠点推進委員会】

委員数 20 名

構成 早稲田大学、関東経済産業局、埼玉県、本庄市、(財)埼玉県産業振興公社、
(公財)埼玉りそな産業経済振興財団、埼玉経済同友会、(社)埼玉県経営者協会、
(株)埼玉りそな銀行、当財団

開催日 第1回5月8日 第2回6月26日 第3回9月25日 第4回11月25日
第5回1月21日 第6回2月15日

(2) 産学官連携共同研究の実施

共同研究等に関しては、外部資金を獲得し、実施の支援や研究統括など共同研究等の推進を図った。

【平成 27 年度戦略的基盤技術高度化支援事業】（経済産業省）

テーマ名：「低コスト・小規模投資で薄肉高強度を実現する革新的ダイカスト技術の開発」
事業概要：川下企業から、アルミダイカスト電装部品の小型軽量化・高機能化のため、機電一体化部品の薄肉、高強度化が強く求められている。しかし、従来の普通ダイカスト技術では、コスト面（高額な設備投資が必要）や品質面（肉厚、強度）で川下企業のニーズに応えられていない。本研究開発では、少額な設備投資で、川下企業のニーズである強度を備えた薄肉品を安価に提供できる革新的ダイカスト技術として、低速・中圧ダイカスト技術の開発を行い、自動車産業を中心に、分野横断的に本技術の拡大展開を図る。

申請先：関東経済産業局 事業管理機関：当財団

研究実施場所：群馬合金(株)、早稲田大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、群馬県立群馬産業技術センター

委託費：22,050,809 円

【平成 26 年度地産地消型再生可能エネルギー面的利用等推進事業費補助金（構想普及支援事業）】（経済産業省）

テーマ名：「本庄地域における地産地消型エネルギー供給事業の事業化可能性調査」

事業概要：本庄地域における産学官が一体となり、地域のエネルギーの面的活用を含む事業モデルの詳細検討を実施する。本庄地域における公共施設や民間企業、市民を対象とした熱電などのエネルギーサービス事業について、事業可能性を調査する。特に、熱供給事業として、複数の戸建て住宅に対して熱エネルギー供給サービスを行う事業モデルを検討し、新電力事業として、地域の電力をアグリゲートする電力事業の展開やエネルギーマネジメントシステムを検討する。これらの検討を踏まえて、本庄市におけるエコタウン構想を推進し、再生可能エネルギーなどのさらなる普及展開を狙う。

申請先：一般社団法人新エネルギー導入促進協議会

事業主体（申請者）：合同会社本庄早稲田エリアマネジメント、(株)早稲田環境研究所、
当財団

委託費：1,468,114 円

(3) 研究会の活動と展開

① 本庄早稲田オープンイノベーションネットワークの活動

2014年に設立した新研究会組織「本庄早稲田オープンイノベーションネットワーク」の各研究部会において活動を展開した。会員等への情報発信については、メールマガジン「本庄オープンイノベーション通信」を月2回定期配信するとともに、必要に応じ研究部会ごとに資料の送付、訪問等による広報を行った。

また、埼玉県内の主な理工系大学との連携を深め、積極的に本庄早稲田オープンイノベーションネットワークの賛助会員となるよう働きかけ、2015年当初から6校の賛同を得ている。会員企業等の課題解決のニーズにきめ細かく対応していくため、これらの大学と連携した取組を始めた。

【 組織体制 】

役職名	氏名（所属）
会 長	山川 宏（早稲田大学教授）
副会長	天田 清之助（サンデン(株)特別顧問）
副会長	荒川 正夫（財団専務理事）
副会長	勝田 正文（早稲田大学教授）
副会長	藤間 憲一（株式会社オキナヤ代表取締役社長）
副会長	福田 秋秀（株式会社エフテック取締役相談役）
副課長	真下 恵司（本庄商工会議所会頭）
部会長	大聖 泰弘（早稲田大学教授）
部会長	小野田 弘士（早稲田大学大学院准教授）
部会長	堀口 健治（早稲田大学名誉教授）
顧 問	嶋根 繁（財団アドバイザー）

《 次世代地域・モビリティ研究部会 》

役職名	氏名（所属）
部会長	大聖 泰弘（早稲田大学教授）
主 査	勝田 正文（早稲田大学教授）
主 査	草鹿 仁（早稲田大学教授）
参 与	高橋 武秀（一般社団法人 日本自動車部品工業会専務理事）
参 与	茂木 聡（株式会社 リテラ取締役技術本部長兼技術本部長）
参 与	藤井 暢純（サンデンホールディングス株式会社 S T Q M 本部特別顧問）
参 与	古澤 好記（株式会社エフテック 上席執行役員兼開発本部長）

《 環境・エリアマネジメント研究部会 》

役職名	氏名（所属）
部会長	小野田 弘士（早稲田大学大学院准教授）
主 査	後藤 春彦（早稲田大学教授）
主 査	高口 洋人（早稲田大学教授）
参 与	池田 清造（ベイシア興産(株)代表取締役社長）
参 与	佐藤 義孝（日本電気(株)関東甲信越支社 広域営業推進部長）
参 与	中澤 康（ミサワホーム建設株式会社顧問）
参 与	福島 直樹（株式会社高砂建設専務取締役）

《 食と農研究部会 》

役職名	氏名（所属）
部会長	堀口 健治（早稲田大学名誉教授）
参 与	荒木 和樹（(株)味輝代表取締役、本庄早稲田食の安心&安全・いちばの
参 与	高橋 祐介（N P O 本庄ファンクラブ）
参 与	山川 裕夫（T. M. L 株式会社代表取締役社長）

現在の会員数 (2016 年 3 月 31 日現在)

◆会員数

[賛助会員] 17 団体 [正会員] 62 社 [個人会員] 5 名

1) 視察：海外展開支援事業

ベトナム裾野産業・人材活用調査研修ツアー（ハノイ訪問プログラム）

※最小催行人数に満たず中止。募集時期、告知範囲を見直し 2016 年度も継続する。

2) 展示会

① さいしんビジネスフェア

[日時] 2015 年 6 月 10 日（水）

[概要] 主催：埼玉縣信用金庫

特別協賛：飯能信用金庫／川口信用金庫／青木信用金庫（順不同）

協賛：（一社）全国信用金庫協会／信金中央金庫／（一社）東北地区信用金庫協会（一社）関東信用金庫協会／（一社）東京都信用金庫協会／（一社）埼玉県信用金庫協会／盛岡信用金庫／花巻信用金庫／気仙沼信用金庫／鶴岡信用金庫／米沢信用金庫／富山信用金庫／高岡信用金庫／新宮信用金庫／きのくに信用金庫／米子信用金庫／しまね信用金庫／島根中央信用金庫／しまなみ信用金庫／呉信用金庫／広島信用金庫／愛媛信用金庫／城南信用金庫／鹿沼相互信用金庫／（一社）コラボ産学官／コラボ産学官埼玉支部（順不同）

後援：経済産業省 関東経済産業局／埼玉県／独立行政法人中小企業基盤整備機構 関東本部／独立行政法人日本貿易振興機構／ 関東貿易情報センター／公益財団法人埼玉県産業振興公社／一般社団法人埼玉県物産観光協会／埼玉県信用保証協会／公益社団法人日本技術士会埼玉県支部／東洋大学／埼玉工業大学／日本工業大学／国立大学法人 埼玉大学／公立大学法人 埼玉県立大学／芝浦工業大学／埼玉医科大学／ものづくり大学／埼玉新聞社／テレ玉／FM NACK 5／株式会社 日本金融通信社／株式会社 日刊工業新聞社 さいたま総局／株式会社 金融経済新聞社（順不同）

会場：さいたまスーパーアリーナ コミュニティーアリーナ

[出展企業・団体]（財団・早稲田大学関連のみ記載） 当財団

[実施内容]「本庄早稲田オープンイノベーションネットワーク」を軸に、財団の実施する中小企業支援事業を紹介。成果の一つとして早稲田大学・埼玉県産業技術総合センター・株式会社 T.M.L が共同で開発したソフトスチーム加工技術を用いた、電子レンジによる 15 分の加熱で炊ける米、「一膳主義」と専用炊飯器等を展示した。

② EVEX EV・PHV 普及活用技術展 2015

[日時] 2015 年 9 月 30 日（水）～10 月 2 日（金）

[概要] 主催：EVEX 実行委員会

共催：電気自動車普及協議会(APEV)、アテックス(株)

後援：経済産業省、環境省、国土交通省、(独)日本貿易振興機構(ジェトロ)、(独)新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)

特別協賛：(一社)日本自動車工業会

実行委員会委員長：早稲田大学大学院 環境・エネルギー研究科長
教授 大聖泰弘氏

会場：東京ビックサイト 東ホール

[出展企業・団体] (財団・早稲田大学関連のみ記載)

- ・会員企業の展示：(株)秋山製作所、(株)飯野製作所、(株)オキナヤ、KYB(株)、群馬合金(株)、東京千曲産業(株)、日生工業(株)、ポーライト(株)
- ・(株)早稲田環境研究所 ・早稲田大学環境総合研究センター ・当財団

[実施内容]

【財団】

本庄早稲田 OIN、本庄早稲田ビジネスプラットフォーム、早稲田若手経営者ビジネススクールのパネル展示

【早稲田大学環境総合研究センター】

「水素吸蔵合金」、「地方の水素インフラ構築のための電・熱エネルギー需要推算」

【株式会社早稲田環境研究所】

「空気エンジンスクーター」

③ 第 51 回モノづくり受発注大商談会 in 大田

[日時] 2015 年 10 月 7 日 (水)

[概要] 主催：大田区、品川区、(公財)大田区産業振興協会、(一社)大田工業連合会
(公財)東京都中小企業振興公社城南支社、東京商工会議所大田支部・品川支部、品川産業協会

会場：大田区産業プラザ Pi0

[参加企業] (財団関連のみ記載)

次世代地域・モビリティ研究部会企業から 1 社 (群馬合金㈱)

[実施内容] モノづくり企業の新規取引先の開拓や情報収集のため、大田区／品川区を中心に全国の製造企業が一堂に会する大規模な商談会。今回は 251 社 (発注 77 社、受注 174 社) の企業が集まり、ビジネスチャンスのさらなる拡充を目指し、活発な商談が交わされた。

④ 前橋市「産学官金連帯フェスタ」

[日時] 2015 年 11 月 2 日 (月)

[概要] 主催：前橋市 会場：前橋テルサ

[出展企業・団体] (財団関連のみ記載) 当財団、(株)梅林堂

[実施内容] 産学連携研究から生まれた新たな開発事例やそれを側面から支援する金融機関の講演などが実施された。財団からは産学官金による「健康にいいおやつ」開発プロジェクトを紹介するとともに、情報・名刺交換会で(株)梅林堂による試作品を提供した。

大学／高専／公設試験研究機関の研究シーズ紹介

前橋工科大学、群馬工業高等専門学校、群馬大学、群馬産業技術センター、(独)日本原子力研究開発機構 量子ビーム応用研究センター、当財団

⑤ 第 12 回埼玉北部地域技術交流会

[日時] 2015 年 11 月 5 日 (木)

[概要] 主催：埼玉北部地域技術交流会実行委員会、埼玉県産業技術総合センター

共催：熊谷商工会議所、深谷商工会議所、行田商工会議所、秩父商工会議所、加須市商工会、くまがや市商工会、ふかや市商工会、ものづくり大学、埼玉工業大学、立正大学、東京電機大学、埼玉りそな銀行、(公財)埼玉りそな産業

経済振興財団、埼玉縣信用金庫、コラボ産学官埼玉支部、(公財)埼玉県産業振興公社

後援：熊谷市、深谷市、行田市、秩父市、加須市、本庄市、寄居町

会場：ものづくり大学

[出展企業・団体] (財団関連のみ記載) 当財団

[実施内容] 本庄早稲田オープンイノベーションネットワークの紹介と入会案内、IOCの紹介とレンタルオフィス入居案内の紹介を中心にパネル展示、パンフレットの配布などを行った。また10月10日埼玉県政広報テレビ番組『彩の国ニュースほっと』で特集された財団の産学官連携の取り組みを紹介した映像を放映。

⑥ 第18回 中小企業による国内最大級のトレードショー 「産業交流展2015」

[日時] 2015年11月18日(水)～20日(金)

[概要] 主催：産業交流展2015実行委員会、東京都、東京商工会議所、東京商工会議所連合会、東京都商工会連合会、東京都中小企業団体中央会、(株)東京ビックサイト、(公財)東京都中小企業振興公社

会場：東京ビックサイト 西ホール

[出展企業・団体] (IOC、財団の関連のみ記載)

- ・IOC 本庄早稲田入居企業の展示：前野技研工業(株)
- ・会員企業の展示：(株)飯野製作所、ポーライト(株)、PLAMO(株)、日生工業(株)
- ・当財団

[実施内容] 本展示会は中小企業の販路拡大や、企業間連携の実現、情報収集・交換等のビジネスチャンスの拡大に寄与する国内最大級の中小企業総合展示会である。今年度も、今後成長が期待される「情報」「環境」「医療・福祉」「機械・金属」の4分野を中心に開催され、本財団は会員企業を中心にIOC入居企業とともに「機械・金属」分野に出展した。

⑦ 彩の国ビジネスアリーナ2016、産学連携フェア

[日時] 2016年1月27日(水)～28日(木)

[概要] 主催：埼玉県、(公財)埼玉県産業振興公社、(公社)埼玉県情報サービス産業協会、(株)埼玉りそな銀行、(株)武蔵野銀行、埼玉縣信用金庫、飯能信用金庫、川口信用金庫、青木信用金庫

共催：(公財)埼玉りそな産業経済振興財団、(公財)全国中小企業取引振興協会、(公財)茨城県中小企業振興公社、(公財)栃木県産業振興センター、(公財)群馬県産業支援機構、(公財)千葉県産業振興センター、(公財)長野県中小企業振興センター、(公財)東京都中小企業振興公社、(公財)にいがた産業創造機構、埼玉県信用保証協会

後援：経済産業省関東経済産業局、さいたま市、独立行政法人中小企業基盤整備機構関東本部等

会場：さいたまスーパーアリーナ

[出展企業・団体] (財団・早稲田大学関連のみ記載)

早稲田大学環境総合研究センター、当財団

[実施内容] 産学連携フェアゾーンにおいて、(公財)本庄早稲田国際リサーチパークと早稲田大学環境総合研究センター関連を出展した。本庄早稲田国際リサーチパーク関連では本庄早稲田オープンイノベーションネットワークの活動の一環として、以下の展示・発表等を行った。

- ・「機能性おやつ開発プロジェクト」

埼玉県熊谷市の老舗、(株)梅林堂が、産学官金の連携で試作したおやつについてのパネルと商品の展示。埼玉県ビジネス懇談会における試食。

- ・「埼玉県立児玉白楊高校スマート農業プロジェクト」

高校生が情報システム開発会社（㈱アイエスイーエム、㈱グローバルソフトウェア）の支援を得て、企画・製作に取り組んだ、スマートフォンと連動した植栽への水やりシステム「水やり君」のデモンストレーション展示。

- ・「Made in Honjo スマートハウスプロジェクト」

井戸の熱源を住宅間で共有することで実現した地中熱（水冷）空調システム情報のリアルタイム展示。技術シーズ発表会によるプレゼンテーションの実施。また、早稲田大学環境総合研究センター関連では、圧縮空気で駆動する空気エンジンを搭載した超軽量小型モビリティ（ULV）の実車を展示した。

⑧ 第20回高度技術・技能展 おおた工業フェア 2016

〔日時〕 2016年2月4日（木）～6日（土）

〔概要〕 主催：大田区、(公財)大田区産業振興協会、(一社)大田工業連合会

後援：経済産業省関東経済産業局、東京都、(独)中小企業基盤整備機構関東本部、東京商工会議所大田支部、日刊工業新聞社

協賛：(一社)日本機械学会、(公社)精密工学会、(公社)発明協会、(一社)プラスチック成形加工学会、(公社)砥粒加工学会、(一社)型技術協会

会場：大田区産業プラザ Pi0

〔出展企業・団体〕 (財団関連のみ記載)

次世代地域・モビリティ研究部会から6社（(株)秋山製作所、(株)飯野製作所、(株)野口製作所、群馬合金(株)、日生工業(株)、ポーライト(株)）

〔実施内容〕 広域連携ゾーン内に設けられた本庄早稲田国際リサーチパークのブースにて、次世代地域・モビリティ研究部会会員企業6社の製品やパンフレット等を展示し、各社の製品や固有の技術を広くアピールした。

3) 公的資金活用支援

【平成27年度国際エネルギー消費効率化等技術・システム実証事業（実証前予備調査）】

（独立行政法人新エネルギー・産業技術総合開発機構）

事業概要：タイ王国の複合商業施設における有機ゴミ（野菜くずや食物残飯：バイオマス残渣）を対象に、多種未利用バイオマス再資源化装置（RRDuB）によるエネルギーバイオマス循環原料（ボイラー等の化石燃料向け代替助燃材）の生成および消費効率化を実証する地産地消のリサイクルモデルを構築するための実証事業
株式会社ファインテック

結果：申請に至らず

【平成27年度埼玉県新技術・製品化開発費補助金】（埼玉県）

事業概要：食品工場から汚泥として産廃処理されているトラップグリースを効率的かつ安定的に回収する据置型の回収装置の開発を行う。また不純物の多いトラップグリースからでも発電が行えるよう、すす成分の除去等の燃料精製技術の高度化を図る。これにより、従来産廃処理されていたトラップグリースを活用した発電事業が展開可能となる。

申請者：株式会社ティービーエム

結果：申請するも採択ならず

【平成 27 年度（第 2 回）サステナブル建築物等先導事業（省 CO2 先導型）】（国土交通省）

事業概要：断熱性を向上させることで快適性を確保しつつ、地域に多く存在する太陽エネルギーと温度差エネルギー（井水）を積極的に活用する地産地消型のエネルギーシステムを共有した 4 戸の住宅を建設する。地域エリアマネジメント会社により、各戸のエネルギー使用量を把握し、再エネ利用状況を積極的に発信・共有することで、住民の継続的な省 CO2 意識の向上を図る。

申請者：ケイアイスター株式会社

結果：申請するも採択ならず

【その他】

平成 26 年度補正予算に伴う支援事業（「ものづくり補助金」40 件）への応募支援など

4) 広報

①メールマガジン

配信実績：毎月中旬と下旬に配信（月 2 回）、臨時の配信については適宜。

メールマガジン会員数（2016 年 3 月 25 日現在）581 名

メールマガジン配信数（2015 年 4 月 10 日～2016 年 3 月 18 日現在）31 回

会員登録は、会員をベースに、過去に取引のあった企業団体を含む。ホームページのメルマガ登録フォームより、メルマガの登録と解除が可能。

②ホームページ：<http://www.howarp.or.jp/>

「イベント&ニュース」において、財団の最新の活動内容をリアルタイムに発信。過去の活動実績についても同メニューから閲覧が可能。

③Facebook：<https://www.facebook.com/honjowasedaRP>

セミナーやイベントをなど、様々な情報や写真を担当者の視点からリアルタイムに紹介。

◆各研究部会の活動

1. 次世代地域・モビリティ研究部会

大学との共同研究に加え、具体的な経営課題や技術課題の解決や経営目標の達成を支援する活動の充実を図った。会員を訪問して具体的なニーズの把握に努め、会員に密着した活動を展開した。

会員企業を対象に、講演会等の開催、公的資金の活用支援、各種情報提供などを行い、産学官連携共同研究の推進、地域産業の振興を図った。

会員企業の技術開発、人材育成を支援するため出前講座を開催する他、展示会への出展など会員企業の販路拡大を支援した。

（1）会員企業訪問

企業における現在の課題や研究会活動に期待するニーズ等を把握するために、会員企業を訪問した。（延べ 50 回） 期 間：2015 年 4 月～2016 年 3 月

4 月 14 日	リケンテクノス(株)	10 月 5 日	群馬合金(株)、日生工業(株)
5 月 8 日	群馬合金(株)	10 月 6 日	リケンテクノス(株)
6 月 15 日	東京千曲産業(株)	10 月 9 日	(株)飯野製作所
6 月 30 日	群馬合金(株)	10 月 13 日	秋山製作所(株)、ポーライト(株)、(株)オキナヤ、KYB(株)
7 月 17 日	日生工業(株)	10 月 16 日	東京千曲産業(株)、日生工業(株)
7 月 24 日	(株)フィアロコーポレーション		

8月5日	(株)飯野製作所
8月18日	サンデン(株)
8月21日	PLAMO(株)、(株)オキナヤ
8月25日	ポーライト(株)
8月28日	城南会
8月31日	(株)ヴァレオジャパン
9月3日	(株)リテラ、(株)木屋製作所
9月4日	KYB(株) カルソニックカンセイ(株)
9月11日	(株)飯野製作所
9月14日	(株)野口製作所、群馬合金(株)
9月16日	ポーライト(株)、KYB(株)
9月17日	日生工業(株)
9月24日	秋山製作所(株)、(株)オキナヤ
9月25日	日本ドナルドソン(株)

10月30日	群馬合金(株)
11月9日	PLAMO(株)
11月10日	日生工業(株)、ポーライト(株)
12月4日	城南会
12月8日	(株)飯野製作所
12月18日	東洋パーツ(株)
1月6日	日生工業(株)
1月19日	秋山製作所(株)、ポーライト(株)
2月12日	(株)飯野製作所
2月8日	城南会
2月23日	城南会
3月8日	(株)エフテック

(2) 研究部会セミナー

【第7回出前セミナー】

日 時：2015年10月6日（火）

講 座：「自動車部品産業におけるリサイクルの現状について」

講 師：早稲田大学 環境・エネルギー研究科 准教授 小野田 弘士 氏

会 場：リケンテクノス株式会社 研究開発センター（東京都大田区南六郷）

受講者数：6名

【第8回、第9回出前セミナー】

日 時：2016年2月8日（月）、23日（火）

講 座：「最近の在宅介護事情について」

講 師：埼玉県立大学 看護学科 准教授 藤川 あや 氏

会 場：社会福祉法人城南会 特別養護老人ホーム しらさぎ（さいたま市岩槻区）

受講者数：79名

(3) 研究室訪問

【日本工業大学機械工学科研究室訪問】

日 時：2015年11月27日（金）

内 容：(1)機械工学科研究室訪問 (2)工業技術博物館見学 (3)懇親会

案内役：日本工業大学機械工学科

古閑伸郭教授、村田泰彦教授、二ノ宮真一准教授、神雅彦教授

会 場：日本工業大学 産学連携起業教育センター（埼玉県南埼玉郡宮代町学園台4-1）

参加企業：6社9名

ポーライト(株)、(株)みすず製作所、フクダエンジニアリング(株)

日生工業(株)、藤田金属(株)、東京千曲産業(株)

(4) ワーキンググループ

第12回次世代空調技術コンソーシアム

開催日時：2015年10月29日（月）

場所：早稲田大学・西早稲田51号館 3階 第3会議室

出席者：カルソニックカンセイ（株）、サンデン（株）、
（株）ヴァレオジャパン、早稲田大学 勝田教授他

大学話題提供：勝田教授 「ヒートパイプの歴史と将来」

企業話題提供：（株）ヴァレオジャパン、カルソニックカンセイ（株）

第13回次世代空調技術コンソーシアム

開催日時：2016年3月11日（金）

場所：早稲田大学・本庄キャンパスB棟(94号館) 2階 202

出席者：カルソニックカンセイ（株）、サンデン（株）、
（株）ヴァレオジャパン、旭硝子（株）、早稲田大学 勝田教授他

大学話題提供：勝田教授 「経産省 産業構造審議会 高圧ガス小委員会報告」

企業話題提供：サンデン（株）、旭硝子（株）

◆成果と展開

①会員との意思疎通

- ・2015年度も会員訪問（延べ50回）を重視し、会員との意見交換を重ねた。
- ・これまで4年間にわたり会員訪問を重ねているため、会員との意思疎通も円滑になり、要望や課題を正確に把握できるようになった。

②関係機関との協力関係

- ・ものづくり大学、大田区産業振興協会との協力関係を深め、販路開拓、展示会への出展、技術相談など会員のニーズに応える活動につなげた。これらの機関との関係は相互補完の面もあり、様々な側面での協力が得られた。
- ・2015年当初から、埼玉県内の6大学に、オープンイノベーションネットワークの賛助会員として参画を依頼し、協力関係を結んだ。
- ・この協力関係を基に、今年度は、日本工業大学の研究室（教員）と会員企業の交流のきっかけとして、研究室訪問を開催した。また、埼玉県立大学に会員向け出張セミナーの講師派遣を依頼した。

③会員サービス

- ・サポインの事業提案及び事業管理、国の平成26年度補正予算に伴う支援事業の申請など、公的支援の活用を支援した。
- ・会員訪問や関係機関との協力関係を基礎に、販路開拓、展示会への出展、技術相談、出前セミナーなど会員の課題解決に繋がる活動を展開した。

2. 環境・エリアマネジメント研究部会

(1) 研究部会セミナー

第1回【本庄早稲田をモデルにした再生可能エネルギー事業性評価について】

本庄早稲田周辺に点在する供給事業者（太陽光、バイオマス、熱源等）や公共施設等の需要家を集約し、EMS（エネルギーマネジメントシステム）と連携した電力小売り事業等のモデルの提案を行った。また小規模街区スマートハウスにおけるエネルギー供給・エリアマネジメント事業についてもケイアイスター不動産の取り組みを中心にディスカッションを行った。

[実施内容]

日 時：2015 年 10 月 2 日（金）

14：30～17：00 講演&ディスカッション

基調講演Ⅰ「本庄早稲田地域における地域エネルギー供給事業・エリアマネジメント
の在り方」 小野田部会長

基調講演Ⅱ「地産地消型スマートハウス「MADE IN HONJO」のコンセプトについて」

ケイアイスター不動産（株）、（株）早稲田環境研究所

ワーキングセッション

17:00～18:00 交流会

会 場：本庄早稲田国際リサーチパーク 3F レクチャールーム

懇親会 リサーチパーク 1F 馬車道跡スペース（17:00～）参加者：19 社 44 名

（2）ワーキンググループ

開催実績 ① 1 回、② 1 回/月

ワーキング名称	活動テーマ	メンバー
① 本庄早稲田をモデルにした再生可能エネルギー事業性評価 WG	本庄早稲田でのエネルギー需給データを基に地域 PPS 事業性評価を行う。	埼玉県、本庄市、その他会員企業 (セミナーと同時開催)
② 農本庄早稲田型次世代住宅 Made in HONJO 開発 WG	本庄早稲田型のモデル住宅の建設。少数街区での井水を共有した地中熱システムの活用検討。	ケイアイスター不動産(株)、 (株)ウェーブ、(株)早稲田環境研究所、財団

（3）プロジェクト

開催実績 随時

プロジェクト名称	事業内容	事業主体
① 本庄地域における地産地消型エネルギー供給事業の事業化可能性調査	平成 26 年度地産地消型再生可能エネルギー面的利用等推進事業費補助金（構想普及支援事業）による調査事業の実施。	合同会社本庄早稲田エリアマネジメント、(株)早稲田環境研究所、財団。協力：早稲田大学 小野田研究室、埼玉県、本庄市等
② インドネシア・西ジャワ太陽光発電事業調査 PJ	(株)ウェーブのインドネシア太陽光発電事業展開のための企画・現地調査。	(株)ウェーブ、財団

（4）視察・見学会

【ユーカーが丘視察・見学会】

住民と開発企業が一体となって成長を続ける魅力的なコミュニティの先進事例として挙げられる千葉県佐倉市ユーカーが丘の現地視察を行った。開発管理企業の山万（株）担当者とのエリアマネジメント事業に係る意見交換や、現地住宅エリアならびに新交通システムの見学を実施し、情報収集を行った。

[実施内容]

日 時：2015 年 7 月 24 日（金）15:00～17:00

場 所：千葉県佐倉市ユーカーが丘 参加者：14 名

◆成果と展開

2015年度は、会員への情報提供の一環として、本庄早稲田の街づくりに関連し、再生可能エネルギーを活用した熱電供給事業や、地産地消型スマートハウスをテーマにしたセミナーを開催した。

また、視察では、千葉県ユーカリが丘へ訪問し先進事例の情報収集を行った。

個別ワーキンググループやプロジェクト展開については、本庄スマートエネルギータウンプロジェクトの事業化推進を目標に、本庄早稲田における地域エネルギー供給事業性評価について、県、市、大学などと共同して需給データの収集および分析を行い、参入を検討する会員企業に対して事業環境やビジネスモデルの提供を行った。

ケイアイスター不動産によるスマートハウス建設をプロジェクト化し、会員企業や大学が協力して地中熱システムの街区共有をはじめとする先進的な仕組みを加えた地産地消型の Made in HONJO ハウスを企画、2016年度中の竣工を目指して活動している。

公的助成金の実績では、平成26年度地産地消型再生可能エネルギー面的利用等推進事業費補助金（構想普及支援事業）に採択され、地域エネルギー需給データや本庄でのエネルギー事業可能性について、研究会で共有し民間・行政への事業参画を提案した。

2016年度も継続して、セミナーによる先端情報の提供を進めながら、産学官連携のワーキンググループ・プロジェクト組織を活用してエリアマネジメントのコンセプトによるスマートハウス・街区のモデル化検討と建設事業や、地域 PPS 事業の普及や種々の方式によるバイオマスの事業化、ICT 農業分野の検討を支援する。さらに、新技術開発や活動で得られた事業化案件等については、公的助成金を活用し他地域での普及や海外への技術移転に繋げる。

3. 食と農研究部会

（1）研究部会セミナー

【食品企業と社会貢献：(株)キューピーあいの障害者雇用の取組と農業の取組について】

医福食農ワーキンググループメンバーを中心に、一般会員にも公開しセミナーを実施した。

[実施内容]

日 時：2015年5月13日（水）

会 場：本庄早稲田国際リサーチパーク N206 会議室

講 師：キューピー(株)特例子会社「(株)キューピーあい」代表取締役社長 庄司 浩 氏

参加者：12団体25名（うち一般会員1社1名）

（2）ワーキンググループ

【医福食農ワーキンググループ研究会】

早稲田大学「持続型 食・農・バイオ研究所」と連携し、「医福食農」の異分野を融合させた実践・研究を産学官連携によって推進するため、2014年から引き続きワーキンググループを実施した。

主な活動

日時	内容	参加者
5月13日	講演「食品企業と社会貢献：(株)キューピーあいの障害者雇用の取組と農業の取組について」 講師：(株)キューピーあい代表取締役社長 庄司浩氏	12団体25名
12月2日	研究報告「埼玉県における障がい者の玉ねぎ生産：2014-2015年の取組について－社会的視点および農学的視点からの分析－」	9団体13名

	報告者：早稲田大学人間科学学術院 武田尚子教授 早稲田大学大学院人間科学研究科博士課程 小川真如	
--	---	--

(3) プロジェクト

【児玉白楊高校スマート農業プロジェクト】

埼玉県北における次世代農業生産者・産業人材の育成ならびに地域産業の振興を推進するため、早稲田大学国際情報通信研究センター（GITI）浦野義頼名誉教授による技術指導を含めた産学官連携により、児玉白楊高校生徒が主体となった農業分野での ICT 活用をテーマとしたプロジェクトを立ち上げ実施した。

＜目的＞

農業・工業系専門高校生徒による農業分野での ICT を活用した課題研究を、産学官で支援することで、次世代農業生産者・産業人材の育成と、ビジネスチャンス構築を通じた地域産業の振興を目指す。

＜プロジェクト概要＞

インターネット等を用いてモノとモノを繋ぐ M2M (Machine to Machine) の概念を学び、簡易的なシステムの製作をしながら、実際に農作業の見える化、データの蓄積、効率化、ビジネスアイデアを自ら考え具体化する力を養う。

2015 年度はスマートフォンを用いた簡易遠隔灌水システム（愛称「水やり君」）構築に取り組み、デモシステムを開発。児玉白楊高校文化祭および彩の国ビジネスアリーナ 2015 にて展示。2016 年 2 月 3 日付日本経済新聞埼玉版に掲載された。

＜実施体制＞

- ・児玉白楊高校：実践
- ・早稲田大学浦野義頼名誉教授：総括
- ・(株)アイエスイーエム：基幹システム提供・技術支援
- ・(株)グローバルソフトウェア：アプリケーション開発・技術支援
- ・(公財) 本庄早稲田国際リサーチパーク：プロジェクトの運営・調整

【埼玉発！機能性おやつ開発プロジェクト】

地域の農産物を活用した機能性おやつの商品開発を通じ、健康向上とともに、地域の農産物の新たな付加価値創造と地域の活性化を図ることを目的とした産学官連携によるプロジェクトを立ち上げた。

＜目的＞

「おやつ」に機能性を付加した「機能性おやつ」の普及は、健康で長生きしたい多くの国民の期待に応えるものであり、事業としての必要性がある。埼玉県発の機能性おやつが市場で認知されることにより、豊富な種類の野菜を生産する埼玉県内において、第 2、第 3 の機能性おやつが開発が喚起されるなど、地域の活性化が期待される。

＜プロジェクト概要＞

全国第 1 位の生産量である埼玉県産の小松菜や、通常は廃棄する小豆の煮汁などを用い、栄養成分にこだわった商品を開発し、製造、販売する。

2015 年度は小松菜おはぎ、七草大福、ジェラート等の試作・店舗での販売を行った。成果は前橋市「産学官金連帯フェスタ」、彩の国ビジネスアリーナ 2016 産学連携フェアにおいて発表・展示を行った。また、2015 年 10 月 3 日付日本経済新聞埼玉版においても大きく取り上げられた。

＜実施体制＞

- ・早稲田大学ナノ・ライフ創新研究機構（矢澤研究員教授）：指導・助言

- ・「日本を健康にする！」研究会：指導・助言
- ・(株)梅林堂（菓子製造販売業）：商品の製造及び販売
- ・（公財）本庄早稲田国際リサーチパーク：プロジェクトの進捗・管理・調整
- ・武蔵野銀行：生産者の紹介

〈助成・補助金等〉

「埼玉県地域ものづくりブランド力強化支援事業」

定例打合せ

日時	内容		参加者
7月9日	キックオフ・ミーティング	・矢澤先生プレゼン「機能性表示食品の現状」 ・梅林堂からの試食、進捗報告 ・「埼玉県地域ものづくりブランド力強化支援事業」申請と現状報告	12名（梅林堂、早稲田大学、日本を健康にする！研究会、財団）
9月16日	第2回打合	・矢澤先生プレゼン「機能性表示食品の現状」 ・梅林堂からの試食、進捗報告	13名（梅林堂、早稲田大学、日本を健康にする！研究会、財団）
11月18日	第3回打合	・矢澤先生プレゼン「ヒトの腸内フローラと乳酸菌」 ・梅林堂からの試食、進捗報告	12名（梅林堂、早稲田大学、日本を健康にする！研究会、財団）
1月20日	第4回打合	・矢澤先生プレゼン「機能性食品の規範と方向性」 ・梅林堂からの試食、進捗報告	13名（梅林堂、早稲田大学、日本を健康にする！研究会、財団）

（４）視察

【イチゴの高品質出荷を実現する分散協働型収穫ロボットシステムの視察】

地方創生農林水産業ロボット推進協議会と連携し、宇都宮大学尾崎研究室で進められている磁気の変化を活用した自動走行とイチゴ収穫ロボットを視察。農業の ICT 化・ロボット化にかかる最新の研究動向を把握した。

[実施内容]

日 時：2015 年 7 月 6 日（月）13：30～17：30

場 所：宇都宮大学工学研究科（ニッポンブランドイチゴ輸出戦略コンソーシアム）

参加者：7 名

◆成果と展開

2015 年度は、早稲田大学「持続型 食・農・バイオ研究所」と連携し、地元製菓企業を中心として、地域の農産物を活用した「機能性おやつ開発プロジェクト」を立ち上げた。今後は、展示会やイベント等を活用して成果を周知するとともに、関心を持つ企業の掘り起しを行う。

また、埼玉県北における次世代人材の育成および地域産業の振興を目的とし、農業・工業系学科を併設する地元高校の生徒を主体とする産学官連携プログラム「埼玉県立児玉白楊高校スマート農業プロジェクト」を立ち上げ、初年度である 2015 年度は、情報システム開発会社（株）アイエスイーエム、（株）グローバルソフトウェア）の支援を得て、高校生が企画・製作

に取り組んだ「スマートフォンと連動した植栽への水やりシステム」のデモンストレーションシステムを開発した。今後は屋外の植栽への実装を進めるとともに、企業と連携して製品の実用化を目指す。

また、昨年度に引き続き早稲田大学「持続型 食・農・バイオ研究所」と連携し、医福食農ワーキンググループの活動を継続し、埼玉県における障害者雇用促進を目的とした玉ねぎ栽培事業を中心に、多分野にまたがる関係者間の情報共有及び連携を促進した。

2016 年は、上述の成果を受け、引き続き農業生産者や食品加工事業者、地域の消費者との連携を進め、ICT を用いた農業の高度化を支援・推進するとともに、本庄から熊谷にかけての地域を中心とした地産地消推進や地域ブランドの創出、海外展開の支援等を通じて、食と農分野における産学官による課題解決に取り組む。

(4) 成果発表

当該事業や本庄早稲田オープンイノベーションネットワークでの活動の成果発表については、各事業別に記載してあるので、当項目欄での記載は省略する。

2. 地域産業活性化支援事業

県北部地域における産業支援拠点として、地域産業の経営基盤を強化し、新たな産業の創出を促進するため、地域の特徴を活かした産業支援策を展開した。

(1) 地域産業人材育成

産学官連携のパートナーである地域企業の経営基盤の強化を図るため、「本庄早稲田塾」を開催し、人材育成を支援した。

① 企業経営者・管理者研修

管理監督者を対象とした研修会を開催した。

日程	内容・講師	受講者数
6 月 17 日(水)・ 18(月)	新任ミドルマネージャー研修 有)ミッション代表取締役 田中久男 氏	24 名

② 中堅社員・専門研修

中堅社員及び実務担当者を対象とした研修会を開催した。

日程	内容・講師	受講者数
7 月 14 日(火)	新規開拓力&価格交渉力研修 にしむらセールズ&ヒューマン研究所所長 西村文彦 氏	59 名
9 月 8 日(火)・9 日 (水)	財務管理研修 堀江國明税理士事務所所長 堀江國明 氏	29 名
10 月 14 日(水)	女性キャリアアップ研修 オフィス Y S 代表 斎藤由起子 氏	13 名
12 月 8 日(火)	クレーム対応研修 (株)武田マゼンタシステム代表取締役 武田哲男 氏	52 名
2 月 3 日(水)・4 日 (木)	幹部候補育成研修 MR I 代表 牧野建治 氏	42 名

・特別セミナー

国の制度に即応して、地域企業を対象とした無料セミナーを開催した。

日程	内容・講師	受講者数
----	-------	------

6月30日 (火)	マイナンバー制度の実務対応 山口社会保険労務士・行政書士オフィス 山口恵美子氏	72名
--------------	--	-----

③ 早稲田若手経営者ビジネススクール

中小企業経営者・後継者や幹部候補者を対象に、講義・ディスカッションのほか、受講生が設定した経営課題を研究するビジネススクールを開催した。

・受講者数7名（全10回講義）

日程	内容	担当講師
4月15日(水)	開講式・ガイダンス 講演「技術は手に宿る」	早稲田大学 鵜飼信一教授 早稲田大学インキュベーション推進室 工藤元氏
5月20日(水)	研究課題発表 テーマ「経営課題と解決策」	早稲田大学インキュベーション推進室 工藤元氏
6月17日(水)	「リーダーシップとコミュニケーション」	深中メッキ工業(株) 代表取締役 深田稔氏
7月15日(水)	「イノベーション経営」	(株)田代合金所 代表取締役 田邊豊博氏
9月16日(水)	中間発表・ディスカッション 研究課題テーマ「経営課題と解決策」 のブラッシュアップ	早稲田大学インキュベーション推進室 工藤元氏
10月21日(水)	企業見学 「中小企業の事業戦略」	(株)マテリアル 代表取締役 細貝淳一氏
11月18日(水)	「中小企業の事業承継」	日本電鍍工業(株) 代表取締役 伊藤麻美氏
1月20日(水)	「経営戦略と新規事業開発」	ダイヤ精機(株) 代表取締役 諏訪貴子氏
2月17日(水)	企業見学 「不況に負けないチャレンジ精神」	(株)浜野製作所 代表取締役 浜野慶一氏
3月16日(水)	修了式 研究発表会・修了証授与式	早稲田大学 鵜飼信一教授 早稲田大学インキュベーション推進室 工藤元氏

(2) 地域企業との連携

地産地消の拡大が食の安全に大きく寄与するという認識に立ち、市民の皆様やお子様たちと共に地域の食や農について楽しく学べる場所・機会を作るため、「食と農のフェスティバル in 本庄早稲田」を、本庄商工会議所とともに企画・準備。ただし2015年度については雨天のため中止。来年度以降の実施については雨天（小雨）実施できる体制を整える予定。

① 食と農のフェスティバルの開催

食と農のフェスティバル in 本庄早稲田

これまで連携してきた本庄早稲田「食の安心&安全いちばの会」の他、本庄商工会議所、本庄地域で食・農分野の活動を行っている市民団体やNPO、企業等と共同で企画・準備。

開催日：2015年10月17日（土）

会 場：早稲田リサーチパークコミュニケーションセンター

内 容：1)発表会コーナー：市民団体などによる催し

- 2) 体験コーナー：ピザ講座、マヨネーズ作り、餅つき
- 3) 食べるコーナー：窯焼きピザ、焼きそば、鳥塩焼、牛焼き肉、シャーベット、ベビーカステラ、ゼリーフライ等
- 4) こども向けコーナー：手作りおもちゃ作り教室、紙芝居、クイズラリー等
- 5) 販売コーナー：地元の食品、農産物等

参加企業・団体数：44 社

一般市民参加者数：約 4,000 名(予定)

(3) インキュベーション(起業家)支援事業

地域経済の活性化や新規事業に伴う新たな雇用の創出を図るため、起業家やベンチャー企業の支援を行った。

(独) 中小企業基盤整備機構、早稲田大学産学官研究推進センター・インキュベーション推進室、産学連携支援センター埼玉等の埼玉県関連機関、近隣の商工会議所・商工会等との連携を強化し、販路開拓やマーケティングなどの支援を行った。

① インキュベーション支援

1) 起業家支援

ベンチャー棟入居企業に対し、経営課題の相談や解決、公的支援の活用や国県の競争的資金への応募、営業先企業紹介やマッチング等の支援を行った。

ベンチャー棟入居企業 7 社 (2016 年 3 月末現在)

企業名	業種	入居年	大学等連携先
前野技研工業(株)	電気化学式ガスセンサの開発・製造販売	2010 年	
賛光精機(株)	太陽光発電パネルの開発・製造販売	2011 年	
(株)アルイテ	IT アウトソーシングサービス	2012 年	
バイオリン・サイエ ンティフィック(株)	創薬研究向け研究機器の販売・サポート	2012 年	
M i M コンサル(株)	医療機関向けコンサルティング	2014 年	早稲田大学大学 院 中里研究室
E T E (株)	冷凍冷却装置用省エネ機器「M i ラクル コイル」の開発・製造販売	2015 年	上智大学 三重大学
(公財)本庄早稲田国 際リサーチパーク	シェアオフィス「本庄早稲田ビジネスプ ラットフォーム」の運営	2012 年	早稲田大学

2) 入居企業以外の支援

支援の要請のあった下記企業に対して、課題解決に向けた継続的支援を実施した。

企業等	相談・支援内容
日生工業(株)	平成 26 年度補正ものづくり補助金 2 次公募申請支援
(株)ベネフィットシステム	業務用ソフトウェア販売での著作権取り扱い相談 「ここから調達サイト」登録での受注獲得支援
ユーエスエンジニアリング(株)	表彰募集への応募相談
リンクサーキット(株)	性能評価用基板ユニット受注支援
こもればいエンジニアリング(合同) 福嶋様 (個人事業主)	知財関連相談 疑似窓枠試作発注先調査支援
飯塚様 (個人事業主)	NPO 法人設立相談
A-plan 小林様 (個人事業主)	融資申請支援

アトリエ DEMETAN 内原様（個人事業主）	創業スクール選手権出場支援
ラジエンスウエア(株)	電子表示板設置相談
フクダエンジニアリング(株)、東京千曲産業(株)、(株)みすゞ製作所、藤田金属(株)、ポーライト(株)、日生工業(株)	県内大学の研究室訪問による産学連携支援
(株)秋山製作所、(株)飯野製作所、(株)オキナヤ、K Y B (株)、群馬合金(株)、東京千曲産業(株)、日生工業(株)、ポーライト(株)、P L A M O (株)、(株)野口製作所	展示会参加による販路開拓、マッチング等支援

② 本庄早稲田ビジネスプラットフォームの運営

資金力のない起業家や創業準備者、プロジェクト段階でのスタートアップに対してインフラ提供や経営相談などを行い、情報共有やネットワーク形成を通じた新規創業や新規事業の創出を支援した。

会員数 19 社（2016 年 3 月末現在）

日程	内容	講師	参加者数
7 月 27 日(月)	【第 5 回 IOC 入居者交流会】 ○無料法律相談会 ○セミナー「社会保障・税番号（マイナンバー）制度のポイントと個人情報の取り扱いについて」 ○交流会	ターナー法律事務所 弁護士 鈴木理晶 氏	26 名
12 月 17 日(木)	【第 6 回 IOC 入居者交流会】 ○セミナー「本庄商工会議所の支援事業・夢をカタチに～夢が語り合え、夢を実現できる商工会議所～」 ○交流会	本庄商工会議所 事務局長 田中一成 氏	25 名
3 月 24 日(木)	【第 7 回 IOC 入居者交流会】 ○セミナー「資金調達のポイント～公庫の役割、金融機関からの資金調達、公庫の活用事例、最近の経済情勢と国の中小企業政策～」 ○交流会	日本政策金融公庫熊谷支店 融資課長 古閑潔 氏	27 名
11 月 13 日(金)	【第 1 回 IOC 利用者の集い】 ○入居企業、BPF 会員企業の自己紹介		8 名

2月18日(木)	【第2回 IOC 利用者の集い】 ○入居企業によるプレゼンテーション	バイオリン・サイエンティフィック(株) 代表取締役 鶴淵裕治 氏	5名
----------	---------------------------------------	-------------------------------------	----

1) IOC 本庄早稲田セミナー・交流会、IOC 本庄早稲田利用者の集いの開催

IOC 本庄早稲田入居企業ならびに本庄早稲田ビジネスプラットフォーム会員の経営知識の涵養、事業展開を視野に入れたマッチングや提携等のきっかけとなるセミナーや交流会を開催し、地域企業連携や地域関係機関とのネットワーク確立を支援した。

2) 創業スクール～ゼロから始める創業スクール～の開催

(平成27年度 中小企業庁 地域創業促進支援事業)

起業に関心はあるがハードルを感じている会社員、主婦、学生、定年退職者等を対象に、講義とビジネスプランの作成およびブラッシュアップを通して起業のハードルを下げ、起業・創業をより身近なものとするため創業スクールを開催した。

全7回講義終了後には、個別相談会と交流会を開催し、創業における課題の解決や修了生同士のつながりを継続するためのOB会を結成した。

事前説明会 ・参加者数 19名

日程	内容	担当講師
8月29日(土)	創業スクール説明会 無料セミナー「創業へのステップ」	早稲田大学インキュベーション推進室 工藤元 氏

創業スクール ・受講者数 23名 (全7回講義)

メイン講師 早稲田大学インキュベーション推進室 工藤元 氏

日程	内容	担当講師 (メイン講師以外)
9月26日(土)	ビジネスプランの作成準備 創業のビジョンとビジネスモデル 地域の創業者による体験談	中小企業診断士 辰野博一 氏 スプラウト代表 細田浩世 氏 ゴルフ&バラエティーふかや 代表 福澤寛之 氏 All Education Academy 代表 赤井由紀子 氏
10月3日(土)	マーケティングの基礎知識 営業・販売戦略	中小企業診断士 辰野博一 氏
10月10日(土)	会計・税務の基礎知識 税務の基礎知識	本間税務会計事務所 税理士 本間実 氏 ターナー法律事務所 弁護士 鈴木理晶 氏
10月24日(土)	資金調達と公的支援制度の活用 地域の起業支援	日本政策金融公庫熊谷支店 融資課長 古閑潔 氏 前野技研工業(株) 代表取締役 前野起男 氏
10月31日(土)	プレゼンテーション ビジネスプラン事例	中小企業診断士 辰野博一 氏
11月7日(土)	ビジネスプラン作成ワークショップ	中小企業診断士 辰野博一 氏
11月14日(土)	プレゼンテーション実践	中小企業診断士 辰野博一 氏 日本政策金融公庫熊谷支店

		融資課長 古閑潔 氏 本庄商工会議所 事務局長 田中一成 氏
--	--	-----------------------------------

交流会 ・参加者数 個別相談会 1 名、交流会 11 名

日程	内容	創業スクール受講者以外の参加者
2 月 6 日 (土)	個別相談会・交流会 創業スクールOB会結成 情報交換	早稲田大学インキュベーション推進室 工藤元氏 中小企業診断士 辰野博一 氏 日本政策金融公庫熊谷支店 融資課長 古閑潔 氏 日本政策金融公庫熊谷支店 秋山友歌 氏

3) 展示会等への参加（再掲）

展示会、商談会等へ参加し、入居企業や県内企業の技術力、当財団のプロジェクトなどをPRした。

名称	開催日	会場	来場者数
さいしんビジネスフェア 2015	6 月 10 日（水）	さいたまスーパーアリーナ	14,955 人
EVEX（EV・PHV 普及活用技術展）2015	9 月 30 日（水） 10 月 2 日（金）	東京ビックサイト	66,352 人
前橋市「産学官金連帯フェスタ」2015	11 月 2 日（月）	前橋テルサ	137 人
第 12 回埼玉北部地域技術交流会	11 月 5 日（木）	ものづくり大学	500 人
産業交流展 2015	11 月 18 日（水） 11 月 20 日（金）	東京ビックサイト	50,067 人
彩の国ビジネスアリーナ 2016	1 月 27 日（水） 1 月 28 日（木）	さいたまスーパーアリーナ	17,233 人
ENEX（第 40 回地球環境とエネルギーの調和展）2016	1 月 27 日（水） 1 月 29 日（金）	東京ビックサイト	48,514 人
第 20 回高度技術・技能展 おおた工業フェア 2016	2 月 4 日（木） 2 月 6 日（土）	大田区産業プラザ Pio	4,329 人

※来場者数は主催者発表による

◆成果と展開

県北部地域を中心とした北関東地域の産業支援拠点として、地域産業の経営基盤を強化し、新たな産業の創出を促進するため、地域の特徴を活かした産業支援策を実施した。

- ・公益法人として広く地域産業の人材育成に貢献するため、早稲田大学等と協力し独自性のあるプログラムを提供するとともに、経済団体の協力を仰ぎながらさらなる普及を目指す。
- ・企業の人材育成を支援するため、引き続き本庄早稲田塾を開催する。
- ・地域で活動している食や農に関係する市民団体や企業等と協力し、食と農のフェスティバルを開催する。
- ・IOC 本庄早稲田入居企業や「本庄早稲田ビジネスプラットフォーム」会員等の交流を促進し、地域産業と大学の研究成果を融合した成長性のあるベンチャー企業の創出、支援を行う。

- ・地域創業促進支援事業の採択を目指し、地域における“起業風土と起業家精神の涵養”、起業・創業がより身近なものとなることを本庄地域の振興につながることを目的として創業スクールを開催する。
- ・県内外の展示会等に積極的に参加し、地域企業の取引拡大等を支援するとともに、産学官連携、産業支援の拠点として財団の認知度を向上させる。

3. 地域連携支援事業

(1) 先進的まちづくり活動支援事業

「本庄早稲田の杜づくり」構想の推進に協力するとともに、川淵三郎塾等、先進的まちづくりに取り組む地域関係者との連携を進め、地域の活性化に貢献した。

① 本庄早稲田の杜づくり活動支援

本庄早稲田の杜のまちづくりについて研究と実践活動している「本庄早稲田まちづくり活動勉強会」にメンバーとして参加するとともに、主催イベントの企画運営を支援した。

- ・定例会議：毎月1回開催

- ・主催イベント

「第4回流しそうめんフェスタ」

8月2日（日）JA 埼玉ひびきの農協駐車場及びホール 参加者 300 名

「早稲田の杜ハロウィンプロジェクト2015」

10月17日（土） 参加者 30 名

本庄早稲田駅人道橋及び自由通路をハロウィンの装飾

「早稲田の杜ウィンターイルミネーション」

12月19日（土）～2月19日（金）本庄早稲田駅人道橋のイルミネーション装飾

- ・まちみがき活動：早稲田の杜周辺のゴミ拾い・除草 毎月第3土曜日 午前9時より実施

- ・男掘川河川維持活動：10月3日（土）及び10月31日（土） 遊歩道の除草、木の枝伐採

② 地域環境を活かした新たなスポーツ施策の支援

1) 川淵三郎塾の活動支援

2009年4月に早稲田大学特命教授に就任した日本サッカー協会最高顧問川淵三郎氏を迎え、本庄市において市内のスポーツ団体や行政の関係者による川淵三郎塾実行委員会、幹事会を組織し、本庄市の掲げるスポーツ施策のスローガン「市民一人1スポーツ」を実現するため、川淵三郎塾を開校した。2012年度からは実行委員会形式から市主催に移行し、事業展開を行った。財団は早稲田大学とともに塾の事業運営に協力し、市民へのスポーツの普及やスポーツを通じた地域の活性化に貢献した。

【行きたくなる場所づくり】

事業内容：本庄西小学校校庭芝生化

日 程	内 容	場 所
6月25日(木)	芝生 5000 株の定植作業	本庄西小学校校庭

【ウォーキング事業】

事業内容：いつでも、どこでも、誰でも気軽に取り組めるウォーキングの普及促進

日 程	内 容	場 所
-----	-----	-----

3月26日(土)	春のウォーキング教室の開催	こだま千本桜散策コース (ウォーキングマップ No. 14 6km) 参加者 100名
----------	---------------	---

【効果的なイベント】

日 程	内 容	場 所
3月2日(水)	川淵三郎塾 指導者講習会 「少年期のスポーツで起こるケガ とテーピングの基礎について」 早稲田大学スポーツ科学学術院 准教授 中村千秋	早稲田リサーチパーク・ コミュニケーションセン ター 参加者 48名

③映像のまちづくり支援 今年度は実施にいたりませんでした。

(2) 地域の人材育成支援事業

早稲田大学、埼玉県、本庄市など関係機関と連携し、地域子どもたちに対し環境教育、科学技術教育、多文化共生の理解増進のための講座・教室を開催し、本庄地域の未来を担う人材の育成に貢献した。なお、成人向けには医療講演会を開催した。

① 本庄早稲田の杜こども科学実験教室の開催支援

地域子どもたちの科学技術の理解の増進のため、早稲田大学大学院や早稲田大学本庄高等学院と共催で科学実験教室を開催した。当財団は事務局として、関係者と調整を図り参加者の募集、応募者多数のため抽選後全員へ通知、広報掲載、講師等の連絡・調整をする。

- ・7月31日(金)「夏休み親子スーパーサイエンス教室」4教室(午前・午後2教室ずつ)

参加者：77組 主催：早稲田大学本庄高等学院 共催：当財団

- ・8月6日(木)「本庄ユニラブ2015」12教室(午前6教室・午後6教室) 参加者：106名

主催：早稲田大学大学院環境・エネルギー研究科、早稲田大学環境総合センター

共催：当財団

- ・12月25日(木)「冬休み親子スーパーサイエンス教室」4教室(午前・午後2教室ずつ)

参加者：71組 主催：早稲田大学本庄高等学院 共催：当財団

② 小学校環境学習支援

本庄市内等の小学校の総合的な学習の時間を支援し、児童生徒の環境教育の理解増進に貢献した。

- ・本庄市立南小学校 10月22日(木) 5年生：70名

講師：市環境推進課 講義内容：女掘川の環境について

- ・本庄市立仁手小学校 12月3日(木) 4年生：9名 5年生：10名

講師：NPO 早稲田環境教育推進機構 講義内容：風力発電

- ・本庄市立北泉小学校 12月10日(木) 5年生：45名

講師：NPO 早稲田環境教育推進機構 講義内容：自転車発電

- ・本庄市立旭小学校「旭小環境学習会」 12月11日(金) 5年生：77名

6班に分かれて、放射性物質・地球温暖化・生態系・自然災害等の授業

講師：早稲田大学大学院環境・エネルギー研究科、埼玉県環境政策課、埼玉県環境科学国際センター、森林インストラクター、本庄市

- ・本庄市立共和小学校 12月16日(水) 6年生：24名

講師：NPO 早稲田環境教育推進機構 講義内容：風力発電

- ・本庄市立南小学校 2016年2月4日（木） 5年生：70名
講師：NPO 早稲田環境教育推進機構 講義内容：自転車発電

③生涯学習活動支援

- ・子ども大学ほんじょう
5月24日（日）入学式から9月19日（土）の終了式まで10回の講義と学園祭に実行委員として企画・運営に参加
受講者児童：延べ681名 学園祭来場者 437名
講義内容：地元企業見学、早稲田大学キャンパスツアー、児玉郡市マスコットキャラクターのひみつ、スイッチの仕組みを考えよう等

④医療や健康、福祉についての講演会等の開催

地域の医療と健康、福祉に関する講演会を市民大学として開催し、交流の場を提供することを目的としたGHWの会と共催で地域医療講演会を開催した。

- ・5月23日（土）「健やかに老いるための時間老年学～生体リズムと子どもの生活習慣」
講師：東京女子医科大学名誉教授 大塚 邦明
参加者：86名
- ・7月18日（土）あなたのいのちへの賛歌「生きてるだけで百点満点」
講師：鈴木助産院院長、公益社団法人群馬県助産師会会長 鈴木 せい子
参加者：53名
- ・9月5日（土）「要介護状態にならないための姿勢や運動（実技指導を含む）」
講師：高崎健康福祉大学 保健医療学部理学療法学科科長教授 浅香 満
参加者：78名
- ・11月7日（土）「パパの明日を、まもりたい。前立腺がんの早期発見と最新治療～ロボット支援手術について～」
講師：伊勢崎市民病院泌尿器科 主任診療部長 竹澤 豊
参加者：104名
- ・3月5日（土）「法医学からみた平均寿命と健康寿命～事件・事故に巻き込まれないために～」
講師：日本大学名誉教授 神楽坂法医学研究所長 押田茂實
参加者：110名

（３）地域環境保全事業支援

里川の再生、里山環境保全活動を普及・推進するため、自然環境への理解を深める体験事業を支援する。2016年度は、埼玉県川の国応援団美化活動団体に登録となり、さらに里川保全活動を推進します。

① 本庄早稲田の杜「里山塾」2015 の開催

早稲田大学本庄キャンパスのある大久保山は、市内でも最もまとまった雑木林が残された場所の一つです。里山の中で、動植物の観察だけでなく、里山の循環について学び、体験することにより、里山の持続可能な利用や人と自然との共生について学んだ。さらに大久保山の歴史にも触れ、時の流れを通じた人と自然の関わりについても考察した。

・当財団は事務局として、参加者の募集、開催ごとに参加者へ通知、広報掲載、講師等の連絡・調整。登録者：43名

講師：大堀聰(早稲田大学自然環境調査室) 荒川正夫(当財団専務理事)

- ・1年間 全8回(同じメンバーで開催)

- 1) 5月16日(土)「大久保山散策(オオタカ、シジウカラ観察)」 参加者: 39名
- 2) 6月20日(土)「循環型農業(サツマイモ植え付け)と散策」 参加者: 37名
- 3) 7月18日(土)「エクスカッション(湯沢の里山)」 参加者: 22名

講師: 大前純一(NPO 法人 ECOPLUS 理事)、清水集落の皆様

- 4) 9月26日(土)「エクスカッション(所沢キャンパスにおける人と自然の共生)」 参加者: 30名

- 5) 10月24日(土)「大久保山の歴史・循環型農業(サツマイモ収穫)と散策」 参加者: 33名

- 6) 11月14日(土)「自然薯堀と散策」 参加者: 20名

- 7) 12月12日(日)「里山保全活動(落ち葉かき)」 参加者: 48名

※第7回のみ、公開講座として一般市民も参加

- 8) 1月16日(土)「1年間の活動の振り返りと散策」 参加者: 22名

参加者全員に終了証を授与。皆勤賞8名とボランティア参加者へ記念品を贈呈した。

・里山塾参加者に声をかけ、「里山ボランティア」を結成し、畑の除草や畝づくりを6月2日(火)・16日(火)、植栽地の草刈り、サツマイモ畑の草刈り・蔓返しを9月16日(水)、12月2日(水)に大久保山の落木落枝の片付、ササ刈りを実施した。

全4回 参加延べ人数 34名

② 河川調査体験学習会の開催及び河川保全活動支援

- ・本庄市立藤田小学校 5,6年生(総合の学習の時間

テーマ: 環境)と早稲田大学本庄高等学院

(SSH河川班)との共同魚類調査・年2回・小山川・元小山川

当財団は事前授業の講師及び関係者のコーディネートを担当

参加者 66名(内訳: 5年生 14名、6年生 22名 先生、学生、講師、スタッフ等 30名)

協力: 埼玉県(本庄県土整備事務所、埼玉県環境科学国際センター)、本庄市、

NPO 法人川・まち・人プロデューサーズ

- ・6月3日(水)「藤田小学校 河川調査事前授業」
- ・6月10日(水)「藤田小学校 河川調査」
- ・6月17日(水)「藤田小学校 河川調査事後授業」
- ・10月28日(水)「藤田小学校 河川調査」
- ・11月11日(水)「藤田小学校 河川調査結果報告」
- ・2016年3月12日(土)川のシンポジウム 2016

「元小山川を取り巻く環境について」

NPO 法人川・まち・人プロデューサーズ・早稲田大学・当財団の共催事業

埼玉県環境科学国際センター協力

参加者 51名

- ・男堀川周辺企業と財団の共催による男堀川の生物調査

主催: 榊カインズ、JA 埼玉ひびきの農業協同組合、賛光精機(株)、本庄早稲田まちづくり活動勉強会、本庄早稲田駅、当財団

協力: 埼玉県(本庄県土整備事務所、埼玉県環境科学国際センター)、本庄市

10月10日(土) 里川保全「男堀川の生物調査・清掃活動」

参加者: 39名 地域住民親子など スタッフ: 35名

場所: 男堀川(本庄早稲田駅周辺、JA 埼玉ひびきの農業協同組合本店前)

（４）国際理解・国際交流支援

本庄市・児玉郡地域の多文化共生社会の実現に向けて、早稲田大学国際教養学部、早稲田大学国際コミュニティーセンター、本庄市・児玉郡など関係機関と連携し、小学校の児童を対象とした国際理解・文化交流の授業の開催、地域住民との異文化理解を深める文化講座や交流会を開催した。また、これらの活動を通じ、まちづくりの人材育成や地域の活性化に貢献した。

・当財団は事務局として、各小学校からの要望を集約し早稲田大学と調整を図り、留学生を決定。留学生と綿密な打合せをもち、授業当日、授業の進行役と通訳を務めた。授業終了後は、留学生に児玉郡内の名所を案内するとともに、華道・茶道・豆腐づくり・そば打ち・キャンドル作りなど様々な体験をコーディネートした。これにより、留学生の地域への理解を深めてもらうとともに、地域住民の国際理解を深めることにも貢献した。

① 小学生国際理解学習の開催

- ・上里町立賀美小学校 5 月 27 日（水）

早稲田大学留学生 2 名（マレーシア、台湾）派遣。6 年生：32 名

- ・本庄市立本庄南小学校 6 月 5 日（金）

早稲田大学留学生 1 名（中国）派遣。6 年生：89 名

- ・本庄市立本庄西小学校 11 月 10 日（火）

早稲田大学留学生 3 名（台湾、ラオス、中国）派遣。6 年生：63 名

- ・本庄市立中央小学校 11 月 17 日（火）

早稲田大学留学生 2 名（シンガポール、中国）派遣。5 年生：79 名

- ・本庄市立北泉小学校 11 月 25 日（水）

早稲田大学留学生 2 名（台湾、中国）派遣。6 年生：51 名

- ・本庄市立児玉小学校 11 月 27 日（金）

早稲田大学留学生 2 名（パキスタン、台湾）派遣。5 年生：65 名

- ・本庄市立仁手小学校 12 月 1 日（火）

早稲田大学留学生 2 名（シンガポール、ベトナム）派遣。6 年生：16 名

- ・本庄市立本庄東小学校 2016 年 1 月 28 日（木）

早稲田大学留学生 2 名（中国、フランス）派遣。6 年生：123 名

- ・本庄市立共和小学校 2016 年 2 月 19 日（金）

早稲田大学留学生 3 名（中国、ルーマニア）派遣。1 年生：32 名、2 年生：32 名、5 年生：33 名

② 国際交流・多文化共生を促進する講座や交流会の開催

本庄市国際交流協会開催のイベントや地域観光協会主催イベント情報を早稲田大学国際教養学部留学生へ発信し、参加希望者を募ったが、今年度は参加者なし。紹介イベント：本庄市国際交流協会クリスマスパーティー、多国籍料理教室、本庄市つみっこ合戦。

◆成果と展開

「本庄早稲田の杜づくり」構想の推進に協力するとともに、川淵三郎塾等、まちづくりに取り組む地域関係者との連携を進め、地域の活性化に貢献した。

2016 年度は、先進的まちづくり、人材育成、環境保全、国際交流等の支援事業の取り組みを充実・発展させる。また、市民団体が実施する地域医療を考える講演会の支援を図るとともに、地域住民のまちづくり活動や環境保全活動等の自立的活動を育成・支援し、本庄市・児玉郡地域の活性化、振興を推進する。

4. 研究教育施設管理運営事業

IOC（インキュベーション・オン・キャンパス）本庄早稲田、早稲田 RPCC（リサーチパーク・コミュニケーションセンター）は、産学官連携による共同研究の実施、新事業の創出などのための基盤となる中核的施設である。地域住民やインキュベーション棟入居企業を含む地域企業に対して開かれた施設運営を目指し、企業セミナー等を通じた交流の促進、埼玉県内外からの視察の受け入れ等により、当施設の PR 活動を積極的に進めた。

（１）IOC本庄早稲田の管理・運営

A・B棟は早稲田大学をはじめとした他大学・研究機関と企業などとの産学官連携による研究開発や人材育成の拠点として、V棟は新規事業や第二創業を行う企業活動の拠点施設として運営を行った。

（独）中小企業基盤整備機構（以下、中小機構）と早稲田大学の基本合意に基づき、中小機構より A・B棟を借り受け、早稲田大学へ高度技術開発および共同研究の拠点として貸与した。

（２）早稲田 RPCC（リサーチパーク・コミュニケーションセンター）の運営

産学官連携、地域産業の活性化等の財団の各事業を展開し、交流活動の拠点として運営した。また、地域の人材育成や啓発活動を行う団体や企業等へ施設の貸与を行い、交流・活動拠点の場として提供した。

施設利用実績

利用者数 257 団体 （うち有料貸出：70 団体 免除 187 団体）

5. 環境問題支援事業

当財団が中心となり、企業、行政機関、地域が直面している諸課題に対して、これまでの活動で培ったノウハウと産学官および海外との協力体制に基づき、解決方法を提供するためのサービス構築を行っている。会員企業等からの海外展開をはじめとする多様なニーズが高まっているなかで、受託研究、コンサルティング機能のノウハウ蓄積と人材育成を図っていく。

（１）環境問題支援窓口・コーディネート事業

① 環境問題に関するコンサルティング及びコーディネート

1) 「平成 26 年度地産地消型再生可能エネルギー面的利用等推進事業費補助金」の調査事業に関連する追加コンサルティング業務

[事業概要]

（株）早稲田環境研究所から委託を受け、「平成 26 年度地産地消型再生可能エネルギー面的利用等推進事業費補助金」の調査事業に関連する追加業務として、地域エネルギー需給データの収集・分析ならびにヒアリング等のコーディネートを実施した。

1. 案件名：再生可能エネルギー面的利用等推進事業に係る本庄早稲田地域のデータ収集・分析、コーディネート業務
2. 委託元：株式会社早稲田環境研究所
3. 調査期間：2015 年 8 月 1 日～2016 年 2 月 29 日まで
4. 業務委託契約費：300,000 円（税込）

2) 中小企業のベトナム専門職人材活用に係るコンサルティング事業

[事業概要]

研当財団の協力機関である技術者教育機関のハノイ日本アカデミー・VCI 人材戦略研究所から委託を受け、(株)上里建設（本庄市：建築業、太陽光発電事業）が採用を希望するベトナム人専門職の選定に関して、企業側のニーズ把握および適正人材活用方法についてのコンサルティングを実施した。その結果に基づき VCI が適正人材を選定し、女性 1 名（ハノイ貿易大卒）がアジア展開事業を担当する正社員として採用された。

1. 案件名：海外技術人材のニーズ調査および活用方法に係るコンサルティング事業
2. 委託元：ハノイ日本アカデミー・V C I 人材戦略研究所
3. 調査期間：2015 年 4 月 1 日から 2016 年 3 月 31 日
4. 財団への委託費：業務委託費として 50,000 円（税抜）

3) 第 1 回 インドネシア共和国 西ジャワ地域公共施設太陽光事業 現地調査

[事業概要]

当研究会会員企業(株)ウェーブ（本社：吹上市）の依頼により、当社が新規事業として検討しているインドネシアでの太陽光発電事業に関する現地事業環境の調査を実施した。また、現地事業パートナーとのコーディネートを実施、公共施設への入札を目標（2016 年度後半）に具体的な作業を継続している。

調査実施場所：インドネシア共和国

- ・ジャカルタ市内、Kawarang 市近郊 西ジャワ州政府 農園栽培作物種子開発センター
- ・Bandung 市近郊 西ジャワ州政府 園芸作物種子開発センター

1. 案件名：インドネシア共和国 西ジャワ地域公共施設太陽光事業 現地調査
2. 委託元：(株)ウェーブ（共同事業者 (株)リクロスエクспанション）
3. 調査期間：2015 年 10 月 25 日から 2015 年 10 月 28 日
4. 財団への委託費：今回の調査経費約 300,000 円をウェーブ社が負担。第二回目以降の調査費については、事業規模が確定次第決定することで調整中。

6. 理事会、事務局等

1 評議員会

2015 年度第 1 回評議員会：2015 年 6 月 25 日

2 理事会

2015 年度第 1 回理事会：2015 年 6 月 4 日

2015 年度第 2 回理事会：2015 年 6 月 10 日

2015 年度第 3 回理事会：2015 年 12 月 21 日

2015 年度第 4 回理事会：2016 年 3 月 29 日

3 役員、評議員の変更

○評議員退任

2015 年 6 月 25 日付け

佐藤拓郎 横山勝常 山中 融 清水雅之 小川良和 藤井宣仁

○評議員就任

2015 年 6 月 25 日付け

根本 進 立川吉朗 原田信次 岩田靖人 八代克彦

○理事退任

2015 年 6 月 25 日付け

原田信次

○理事就任

2015 年 6 月 25 日付け

清水雅之

○監事退任

2015 年 6 月 25 日付け

大塚宗春

○監事就任

2015 年 6 月 25 日付け

鈴木一喜

4 事務局

職 員

2015 年 3 月 31 日現在		2016 年 3 月 31 日現在	
出向職員	2 名	出向職員	2 名
駐在職員	2 名	駐在職員	2 名
正職員	1 名	正職員	1 名
契約職員	7 名	契約職員	7 名
派遣職員	1 名	派遣職員	1 名
合 計	13 名	合 計	13 名